

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市洛南身体障害者福社会館（生活介護・就労継続支援B型）の運営について

当施設は昭和45年に開設し、生活介護事業では、利用者ニーズに応じて、運動プログラム・創作活動・生産活動など自立と社会生活の充実、生活力の向上を目指しています。

また就労継続支援B型事業では、一日を通して主に軽作業の生産活動により、仕事への責任感や達成感を得ながら仕事への能力を高めています。

当施設の収入と支出

<当施設の収入と利用者数>
主に国からの給付費収入及び就労支援事業収入等により運営
令和元年度の利用者数 5,124人

<支出>

利用者1人当たりの運営経費 12,010円 (A)

総額 0.6 億円

人件費 9,230円	水道光熱費 材料費等 1,800円	委託費等 720円	その他 260円
---------------	-------------------------	--------------	-------------

<収入>

利用者1人当たりの
収入 640円 (B)

総額 3,176千円

総額 0.57 億円

(A) - (B)

就労支援 事業収入 360円 (3%)	その他 280円 (2%)
------------------------------	---------------------

差額 Δ 11,370円

公費で負担

いずれも概数
10円単位で四捨五入

- 施設を利用しない方も含めた公費負担により、現行の利用料金等で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担（施設使用料等）と公費負担などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。